

## 健康日本21中間評価報告書

**全般的な評価**  
健康日本21は、健康づくりに関する各種指標について数値目標を設定し、国民が一体となった健康づくり運動を推進する手法を導入したことにより、国民の健康指標に関する各種データの体系的・継続的なモニタリング、評価が可能となった。  
また、前段階及び市町村においては、健康増進計画の策定が進んでおり、全ての都道府県で都道府県計画が、約半数の市町村で市町村計画が策定されている。  
健康日本21の中間評価における中間評価結果は、例えば、脳卒中、虚血性疾患の年齢別罹患率等の改善傾向が見られるもの、高血圧、糖尿病の患者数は特に中高年男性では改善していない。また、肥満者の割合や日常生活における歩数の減少により、健康日本21策定時のベースライン値より改善していない項目や、悪化している項目が見られるなど、これまでの進捗状況は全体としては必ずしも十分ではないが見られる。

課題	今後の方向性	分野別の取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 既に主体的なターゲットが不明確（目標値が不明確）</li> <li>○ 目標達成に向けた効果的なプログラムやツールの展開が不十分</li> <li>○ 政府全体や産業界を巻き込んだ社会全体としての取組が不十分</li> <li>○ 医療従事者、市町村等の関係者の役割分担が不明確</li> <li>○ 民権部、管理栄養士等医療関係者の責務の向上に関する取組が不十分</li> <li>○ 現状把握、進捗評価のためのデータの収集、整備が不十分</li> </ul>	<p><b>ポピュレーションアプローチ</b> (健康づくりの国民運動化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 代替目標項目の選定（都道府県健康増進計画に目標値設定）</li> <li>○ 一部道庁健康増進計画策定ガイドライン、都道府県健康・産業連携マニュアルに沿った計画の内容充実</li> <li>○ 新規目標項目の設定</li> <li>○ 効果的なプログラムやツールの普及啓発、定期的な見直し</li> <li>○ メタボリックシンドロームに着目した、運動習慣の定着、食生活改善等に向けた普及啓発の推進</li> </ul> <p><b>ハイレベルアプローチ</b> (効果的な検診・保健指導の実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 医療従事者（30歳以上の保健師等）が住民に対してメタボリックシンドロームに着目した検診・保健指導の普及実施（2008年度より）</li> <li>○ 生活習慣病予防のための効果的な検診・保健指導プログラムの提示、定期的な見直し</li> </ul> <p><b>産業界との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 産業界の自主的取組との一層の連携</li> <li>○ 保健指導事業者の普及及び量の確保</li> <li>○ 人材育成（医療関係者の資質向上）</li> <li>○ 国、都道府県、医療関係者団体、医療従事者団体等が連携した人材養成のための研修等の充実</li> </ul> <p><b>エビデンスに基づいた施策の展開</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ アウトカム評価を可能とするデータの把握手法の見直し</li> <li>○ 国民健康・栄養調査の在り方の見直しを検討</li> <li>○ 都道府県・市町村等の取組状況の定期的な把握</li> </ul>	<p><b>栄養・食生活</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 検診後の栄養指導の充実</li> <li>○ 「食育」プログラム等の普及啓発や食環境整備の推進</li> <li>○ 食育と連携した国民運動の推進</li> <li>○ 行政における食育委員会の設置などの体制整備</li> </ul> <p><b>身体活動・運動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 検診後の運動指導の充実</li> <li>○ 「エクササイズガイド2006」の普及啓発</li> <li>○ 健康運動指導士等の育成の促進</li> <li>○ ウォーキングの普及など運動に親しみ環境の整備</li> <li>○ 休養・こころの健康づくり</li> <li>○ 自殺対策の推進</li> <li>○ 自殺対策に関する研究の推進</li> </ul> <p><b>たばこ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新規喫煙者増加の防止</li> <li>○ 禁煙指導の充実</li> <li>○ がん対策の充実</li> </ul> <p><b>アルコール</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多量飲酒者対策の充実</li> <li>○ 未成年の飲酒防止の推進</li> </ul> <p><b>歯の健康</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の実情に応じた幼児期及び学童期の予防</li> </ul> <p><b>糖尿病</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ メタボリックシンドロームに着目した効果的な検診・保健指導の実施</li> <li>○ 一次予防の充実</li> <li>○ 糖化ヘモグロビン（HbA1c）の測定による糖尿病の早期発見</li> <li>○ 糖質制限食の普及啓発</li> <li>○ 糖質制限食に関する研究の推進</li> </ul> <p><b>がん</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ がん検診の推進</li> <li>○ 一次予防の充実</li> <li>○ がん対策に関する研究の推進</li> </ul>

12

## ポピュレーションアプローチについて

13

## 健やか生活習慣国民運動（仮称）（案）

これまでのポピュレーションアプローチの課題

- 健康日本21の目標項目(9分野70項目)は日常生活で意識し実践するには数が多いこと
- 健康日本21の目標達成に向けた効果的なプログラムやツールの展開が不十分なこと
- 普及啓発が行政や外郭団体中心であり産業界を含む社会全体の活動に必ずしも至っていないこと

**産業界も巻き込み「健やかな生活習慣」の普及啓発を目指す国民運動の展開**

- 重点分野の設定：健康日本21のうち、「運動・食事・禁煙」に焦点
- ターゲットを明確にした戦略的に効果的な運動の推進：国民運動の着火点として子供の教育に着目
- 社会全体を巻き込んだ運動の展開：産業界による取組の促進（社員・家族への普及啓発、社会貢献活動、経済活動の一環として国民運動を推進）、地域・職域の特色を活かした様々な実践活動の促進

国民運動推進の核機関

**国民への普及啓発**

- 科学的知見の蓄積と情報提供
- 国民運動の基礎整備

**各団体、学校、産業界、地方公共団体、マスコミ**

国民運動への主体的参画

**健やか生活習慣国民運動全国協議会（仮称）**

- 健やかな生活習慣の定義を目指し地域・職域における様々な取組を促進
- 普及啓発キャンペーンの展開 \* 中央行事の開催
- 全国の事例を収集、評価、啓発、実践の参考となる情報提供（ホームページ等）
- 国民運動に参加する企業の登録制度（ヘルシーサポート企業（仮称））外

**産業界**

- 社員・家族に対する普及啓発
- 社会貢献活動
- 経済活動を通じた普及啓発

**地域社会**

- 各地域・団体の特徴を活かした多様な実践活動（食生活改善推進員のボランティア活動等）
- 管理栄養士、保健師等による実践の支援

**事例**

- 優れた事例：収集・評価・啓発
- 事例：実践団体・企業等の拡大
- 事例：活動内容の多様化

食育国民運動      早期早起き朝ごはん国民運動

14

## 健やか生活習慣国民運動（仮称）の進め方（案）

**18年度**

国民運動準備会議の設置準備

- 国民運動の基本方針検討（運動、食事、禁煙に焦点）
- 推進体制・推進スケジュール
- 省内関係課・関係団体との意見交換
- 国民運動の推進方針の素案検討
- 関係者等との連携方針協議 \* 文部科学省、農林水産省、経済産業省
- 準備会議設置準備（設置準備）等有形・各団体への参加要請

**19年度**

国民運動プレイベントの開催

新しい国民運動の開始を前に国民、関係団体、企業、地方公共団体等への周知徹底を図る。

- 実施 国、国民運動準備会議等
- 予定時期 2月（都内で開催）
- 内容（例）
  - ・ 全国の優れた実践事例の収集・評価・発表
  - ・ 企業、学校、保育所、各種団体、地方自治体別
  - ・ 企業、各種団体の活動紹介ブース出展
  - ・ パネルディスカッション、ワークショップ
  - その他 団体別巡回主催行事と共同開催

健康日本21推進全国大会

新たな国民運動及びプレイベントのPR、先駆的取組を全国から募集

- 時期 9月（開催地：福井県）

例えば・・・

- ◆メタボ減速キャンペーン（産経新聞）
- ◆伊能忠政上陸運動（伊能氏）【別添】

業務委託＝企画提案コンペ実施（7月）

- シンボルマーク・キャッチコピー等の提案
- プレイベントの企画・運営の補助

9月（仮称）国民運動準備会議の設置（6月）

- 検討内容等
  - ・ 国民運動の推進方針（広報戦略、実践促進策）
  - ・ 運動の重点課題（子供の健全な食生活等）
  - ・ 推進体制のあり方、試行的取組の実現可能向け
  - ・ 運動の調整確保（基金設置、賛助員制度等）

**20年度**

国民運動全国協議会の発会

国民運動の開始を宣言

- ・ 予定時期 4月下旬
- ・ 記念行事開催
- ・ シンボルマーク等発表

国民運動の展開

一普及啓発及び実践促進

- ・ 食育月間（6月）や食生活改善月間（10月）と連携したキャンペーンの展開
- ・ 啓発イベントの開催（10月）
- ・ 各種団体、企業、地方公共団体の主体的活動の促進
- ・ 管理栄養士等による実践支援
- ・ 基金等への協力要請

21年度～

国民運動参画団体・企業の拡大

- ・ 生活習慣病予防の国民生活への浸透と定着

14